



佐山天体観測所  
ふじはしかずひろ  
藤橋和弘さん  
(甲賀町神保)

### 手作り観測所から星の魅力を発信

甲賀町神保に、天の川や遠い銀河を見ることができると天体観測所があります。住宅地の中に位置するこの観測所、実は個人の趣味が興じて作られた手作りの観測所です。

中学生のころ、友達から星の話聞き、いろいろ調べているうちに興味が出てきたという藤橋さん。以来星に魅せられ、今から16年前、自宅の改築にあわせ、ついには手作りの観測所を開設されました。3階建てのこの建物は、屋根が自由に開閉する観測スペースに、何万光年離れた星が見える望遠鏡が備わった本格的なもの。2階には星に関する文献や資料がびっしりと並びます。

「星には、ハレー彗星のように、次に地球で見られるのは76年後という星や、二度と見られない星もあります。また望遠鏡から見える星は毎日変化していきます。そういうドラマチックなところが魅力の一つです。」と藤橋さん。星の魅力を多くの人に知ってもらおうと毎月「星を見る会」というイベントを開催、観測所に星好きの仲間や子どもたちが多く訪れます。

「最近、明かりが多くなり、星が見えない場所が増えてきています。全国的にも天の川が見える場所は少なくなってきました。でもこの美しい空も甲賀市の大切な財産です。まちも発展してほしいですが、天の川がみえるこの素晴らしい環境を守っていきたいです。」と話す藤橋さん。

そんな藤橋さんの夢は観測所に来る子どもたちと一緒に活動を盛り上げ、みんなでもっと大きな設備をつくること。

大きなプラネタリウムの開設が夢だったという藤橋さん、その夢は手作りという方法でかいたつあります。



▲季節の星を映し出すことができる自家製プラネタリウム

## シェフが先生、食を通じて、世界の国を知ろう

～甲南第一小学校～

**甲** 南第一小学校で2月5日、シェフから料理を学ぶ「食を通じて、世界の国を知ろう」が行われました。この日は、県内のホテル、ゴルフ場で活躍される7人のシェフの指導のもと、4年生児童が外国の食材を取り入れたサラダやハンバーガー、デザート作り挑戦。レストランに並んでもおかしくないおいしいような料理ができあがりました。児童は文句なしのおいしさに満足しつつ、シェフに世界の料理の話聞き、世界の食について楽しく学ぶことができました。



▲シェフから手ほどきを受ける児童

## 世界の「あい」あふれる

国際交流フェスタ2009

**碧** 水ホールで2月15日、国際交流フェスタが開催されました。「であい・ふれあい・わきあいあい」をテーマに行われた今年のフェスタ、ステージでは、和太鼓やバンドの演奏、姉妹都市を訪問した生徒たちによる発表、世界各国の服のファッションショーなど国際色豊かな催しが行われました。また、ロビーでは、世界各国の食べ物が販売され、早々と売り切れるところが続出し大盛況となりました。世界各国の人、文化が集まったこの日、世界の多くの「あい」も集まりました。



▲各国の友だちが集まり合唱

## 地域のごみ散乱防止に活躍

～油日小学校が環境美化教育優秀校を受賞～

**油** 日小学校が、環境美化教育優秀校の散乱防止活動部門で表彰を受けました。これは、社団法人食品容器環境美化協会が、環境美化に熱心に取り組む小、中学校を表彰するもので、同校では、通学路の美化活動や、分団でのボランティアなど、環境美化活動に取り組んできました。また、こうしたらごみが減るかを自分たちで考え、リサイクル品を利用した啓発看板や啓発演劇を行い、地域のごみ散乱防止に活躍してきました。その活動は30年にもなります。2月3日、同校で表彰が行われ、児童を代表しエコ委員の皆さんが受け取り、「これからもごみのないまちをめざします。」と決意を述べました。



▲表彰状を受け取るエコ委員の皆さん

## プロバスケットボール選手をエスコート

～甲賀ミニバスケットボールスポーツ少年団～

**ス** ポーツの試合で、選手と手をつないで会場へ入場する「エスコートキッズ」。プロ選手と手をつなぎ、周近で応援できるこの機会は子どもたちにとって憧れの瞬間です。2月1日、滋賀県立体育館で行われた、日本のプロバスケットボールリーグ（bjリーグ）滋賀レイクスターズの試合で、甲賀スポーツ少年団がエスコートとして交流を深めました。また、同会場では、ミニバスケットボールエキシビジョンマッチが行われ、市内から甲賀、甲南、信楽スポーツ少年団が出場、プロと同じコートで熱戦を繰り広げ、そして交流を深めました。



▲選手と入場するスポーツ少年団のメンバー

## いきいきと伝統芸能を披露

～子ども芸能フェスティバル～

**こ** ども芸能フェスティバルが2月1日、あいこうか市民ホールで行われ、市内の子どもたちが華やかな舞台を繰り広げました。古典芸能や伝統文化の継承、発展に頑張っている子どもたちにスポットライトを当てた催しで、今年で3回目となります。今回は、和太鼓や日本舞踊など合わせて9グループ約140名が出演。保育園児から高校生まで、日ごろの練習の成果を発表しました。また、オーブニングには、城山中学校吹奏楽部から小編成のアンサンブル2組が賛助出演し、美しい音色で観衆を魅了しました。



▲練習の成果を発表する子どもたち